

中学校武道「空手道」

教師用資料

「空手道」を初めて指導する先生のために、よりよい授業づくりに役立つヒントをまとめています。必要に応じて確認し、授業にご活用ください。

目次

グループ学習の手引き	1
「陣形」の作り方	2
録画映像の活用について	3

グループ学習の手引き

「グループ学習」のねらい

仲間と協力して動き方を考えたり、互いにアドバイスし合ったりしながら、形の技能を高め、課題の解決に向けた方法を見出させます。

共に考えアイデアを出し合うことにより、発想力や想像力を養い、1つのものを作り上げていく過程においては、自分の役割に積極的に取り組む姿勢や、仲間との一体感、信頼感、達成感、相手を尊重し感謝する気持ちを育みます。



「グループ学習」の進め方

1. リーダーを決める

学習を進める中で、それぞれの生徒の技能や練習に臨む態度などを見て、数名のリーダーを決めておきます。

2. メンバーを振り分ける

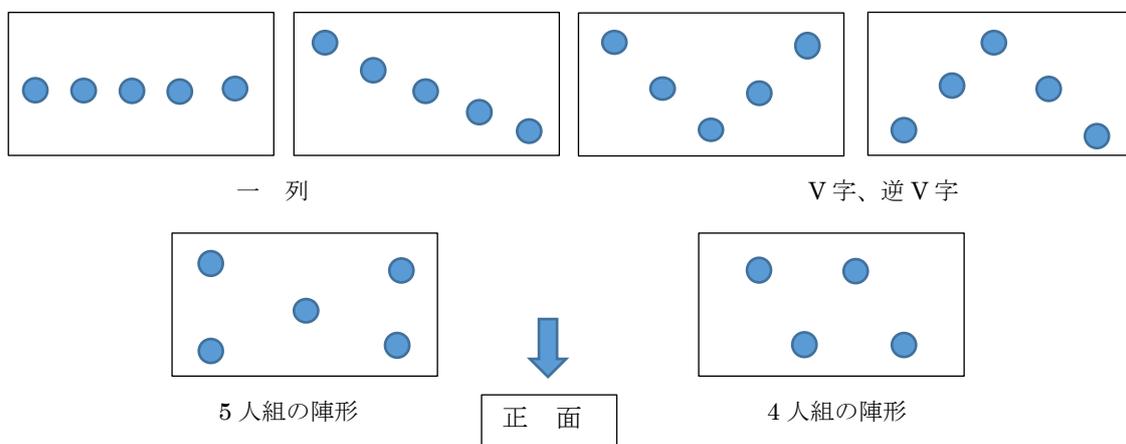
体格差をできるだけ小さくするために、背の順で4～5名の少人数グループに分け、それぞれのグループに1名、リーダーを配置します。

3. グループの中でペアをつくる

グループ内に2～3組のペアをつくり、それぞれのペアで形や約束組手の練習をさせます。

「陣形」の作り方

いくつかの演武隊形を提示し、リーダーを中心に自分たちの演武に合う隊形を考えさせます。



1クラス、1学年での実施

一度に演武を行う人数が増えるほど、衝突の危険や、陣形の乱れが出やすくなります。お互いの間の距離や陣形を崩さないためには、足を運ぶ方向やタイミングが揃うことが必要です。生徒は1人1人体格や歩幅も異なるので、運足や方向転換の時には、前後左右の人との距離や位置関係に気を配らねばなりません。

録画映像の活用について

メリット

模範演武用 DVD を活用することで、それぞれの形の正しい姿勢や動作を確認し、理解・修正することができます。また、グループでタブレットやデジカメなどを使い、自分たちの動きを撮影して客観的に見ることで、演武をしながらでは気づけなかった個々の動きや全体の隊形の良い点、悪い点を見つめ直すこともできます。

指導の上での評価においても、練習の様子や発表の様子を撮影することで、個々の技能や理解度を確認することができます。

録画映像活用のシーン

1. グループ学習（生徒による活用）

- ・競技の DVD の活用……選手の卓越した技や洗練された動作、目付け、気合、残心などを見て、参考にする。
- ・模範演武用 DVD の活用……形の挙動の中で、わからない動きを確認する。
- ・録画ビデオの活用……自分たちの演武を撮影して動きを外から見ることで、うまくできている点、できていない点を把握し、動きを発展させたり修正したりすることに役立つ。

演武中の個々の距離感を確認し、安全な距離を保つようにする。



2. 評価（教師による活用）

- ・模範演武用 DVD の活用……それぞれの形の正しい姿勢や運足、動き方を確認する。
- ・録画ビデオの活用……グループ全体の隊形の美しさ、動きの統一性、個々の生徒の動きの正確性、相手との距離の取り方などの技能がどのくらい身についているかを確認する。

それぞれの挙動の意味を理解できているかを見る。

